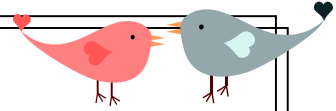


やさしい日本語のコツ



① みじかい文で：「。」をたくさん使って話す
1文に情報は1つ

② かんたんな言葉で：難しい言葉を簡単に言い換える
／使わない

- ・ 熟語（漢語）→和語にする
- ・ 敬語／タメ口→「です・ます」で話す
- ・ 擬音語、擬態語→×（使わない）
- ・ カタカナ語→△（気をつけて使う）

③ たとえば：具体的な例を出す

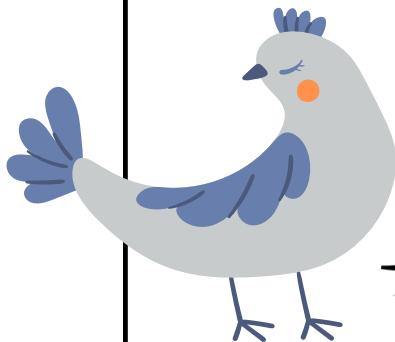
④ さいごまで話す：文を省略しないで全部話す
「だれが、どうした」「なにが、どうだ」

みかたさ！
(味方さ)

「みじかく」「かんたんな言葉で」
「たとえば」
でも「省略しないでさいごまで」！

★注意ポイント★

- ・ 全体として伝えたいことは何か
- ・ 相手によって「やさしさ」は変わる
- ・ 子ども扱いしない
- ・ 背景知識がないため理解できない可能性



やさしい傾聴のコツ

聴く・待つ・広げる



聴く

- ・ あいづちを打つ（聴いているサイン）
- ・ 相手の話を理解したことをはっきり示す（「そうですか」「わかりました」など）
- ・ 繰り返しなどをして、相手の話を確認する（「～ですか」「～ですね？」など）



待つ

- ・ 笑顔でゆっくり待つ！
- ・ 親切心から先回りして言ってあげたいのをちょっとだけ我慢する
- ・ 少し待ってから、相手が困っていたら積極的に助ける

広げる

- ・ 相手に興味を持って、話を引き出す

※日本に住む外国人が自分のことや考えについて、自分で考えて日本語で話す
→自己肯定感・自己有効感・日本語能力の向上

参考：柳田直美「日本語教育経験のない母語話者の情報とり方略に非母語話者との接触経験が及ぼす影響」2011『日本語／日本語教育研究』ココ出版

★質問のコツ★

- ・ 簡単な質問：closed question

答え：「はい／いいえ」

ひと言で終わる

- ・ 複雑な質問：open question

答え：自由な答え

（答えるのに時間がかかる）

